

# Tokyo働き方改革宣言



東京都知事 小池百合子 書

業務の見直しやICTツールの活用による「生産性」の追求と、現在・未来も含め様々な個性を持つ職員にとって「働き甲斐のある職場」作りに向け絶えず進化させていく活動を日本物産版「働き方改革」として宣言します

平成30年9月26日  
日本物産株式会社

## 目標

### 働き方の改善

- ・労働時間の部門偏差の縮小を目指します(現在19ポイント→15ポイント)
- ・ICTツールの活用により場所、時間にとらわれない働き方の導入を目指します

### 休み方の改善

- ・2020年度には10日以上有給付与者全員の年6日間以上の取得を目指します
- ・男性育児休業取得可能社員の2割以上取得を目指します

## 取組内容

### 働き方の改善

- ・管理職による残業時間の見える化(対話)を導入
- ・ICTツールの活用による、すき間時間(移動)の効率活用
- ・17時以降の会議は原則禁止／会議は1時間以内に設定
- ・勤務間インターバルの実施(11時間)を前倒しで導入

### 休み方の改善

- ・年5日間の計画公休制度の必須取得を前倒しで導入
- ・連休谷間や土日に1日公休を追加し、連続した休暇を推奨
- ・介護・育児等との両立をふまえ、多様な働き方を法制度への公休上乘せを含め検討
- ・取得率が少ない男性社員の育児休業取得を推進